

福島除染基礎勉強会の活動

2012.8.22-23

第 28 回バックエンド夏期セミナー

九州大学 稲垣 八穂広

勉強会開催の経緯

2011.10 バックエンド週末基礎講座開催（於九大）
（「福島環境汚染の状況と修復活動」についても講義）



中沢氏（福島市在住）からの依頼

「一般市民を対象とした講義を福島で開催して欲しい」

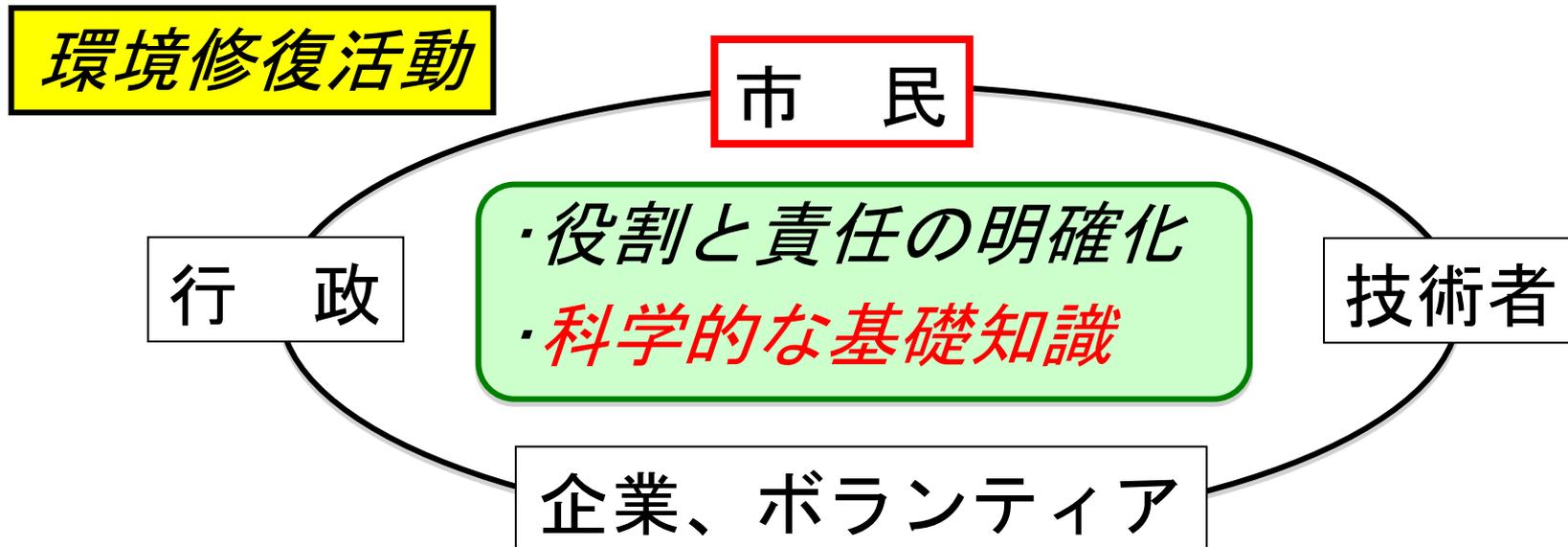
汚染区域の分類:

警戒区域、計画的避難区域、帰還困難区域、居住制限区域、
避難指示解除準備区域、それ以外の区域

環境修復活動と支援体制の現状

- **行政の活動**（国, 自治体, 農協, 等） ← **支援** 学会, JAEA, 企業, 等
- **市民の活動**（個人, コミュニティ, 等） ← **支援** ??????

勉強会の目的



バックエンド部会は、市民の活動を支援できるのでは、

勉強会の目的

放射線、汚染、被曝、除染等に関して、
適切に判断し行動するために必要な科学的基礎知識を、
市民の方々とともに勉強する。

勉強会の進め方

- 「講習会」ではなく「勉強会」
- さまざまな疑問に科学的観点から応える。
- いっしょに考え、最善の判断を導く。
- 最終的な解決に至るまで継続して協力する。



相互のコミュニケーション



市民のみなさん

適切に判断し行動するための科学的基礎知識を得る。

BE部会

環境修復の現状を理解し、効果的な支援に役立てる。

第1回勉強会(2012.1.29 五十辺集会所)の参加者

氏名	所属	専門
岡本 弘信	内閣府原子力安全委員会	原子力安全工学
河田 東海夫	原子力発電環境整備機構	原子力全般、放射性廃棄物
川妻 伸二	日本原子力研究開発機構福島技術本部	放射性廃棄物
坂本 浩幸	(株)太平洋コンサルタント	コンクリート、放射性廃棄物
佐藤 努	北海道大学	鉱物地質学、放射性廃棄物
柴田 雅博	日本原子力研究開発機構	放射性廃棄物
千葉 保	日揮(株)	放射性廃棄物
張 銘	産業技術総合研究所	地圏資源環境、放射性廃棄物
朽山 修	原子力安全研究協会(元東北大教授)	無機化学、放射性廃棄物
芳賀 和子	(株)太平洋コンサルタント	コンクリート、放射性廃棄物
中井 俊郎	日本原子力研究開発機構福島技術本部	放射性廃棄物、除染
峰原 英介	若狭湾エネルギー研究センター	加速器物理、レーザー工学
三好 悟	(株)大林組	建設、放射性廃棄物
稲垣 八穂広	九州大学	原子核工学、放射性廃棄物
計13名		

市民の方々

中沢氏、江川氏をはじめ計40名程度

第1回勉強会(2012.1.29 五十辺集会所)のプログラム

1. 勉強会の趣旨、経緯等の説明(10:00～) 稲垣 八穂広(九大)

2. 福島の方からの質問事項に関する議論(10:10～12:10 計120分)

進行: 中沢 達浩(福島側幹事)、柴田 雅博(JAEA)

* 各質問事項につき、講義15分、質疑15分

(1) 身体、健康に関する事項 講師: 峰原 英介(若狭湾エネルギー研究センター)

(2) 食べ物に関する事項 講師: 芳賀 和子(太平洋コンサルタント)

(3) 数値に関する事項 講師: 朽山 修(原安協、元東北大学教授)

(4) 除染に関する事項 講師: 中井 俊郎(日本原子力研究開発機構)

3. 自由討論(12:40～) 進行: 江川 貴紀(五十辺地区代表)、千葉 保(日揮)

第2回勉強会(2012.3.25 松川学習センター)の参加者

氏名	所属	専門
秋葉 健一	東北大学(名誉教授)	原子力全般、放射性廃棄物
岡本 弘信	内閣府原子力安全委員会	核燃料サイクル
河田 東海夫	原子力発電環境整備機構	原子力全般、放射性廃棄物
川妻 伸二	日本原子力研究開発機構福島技術本部	放射性廃棄物
坂本 浩幸	(株)太平洋コンサルタント	コンクリート、放射性廃棄物
佐藤 努	北海道大学	鉱物地質学、放射性廃棄物
千葉 保	日揮(株)	放射性廃棄物
張 銘	産業技術総合研究所	地圏資源環境、放射性廃棄物
芳賀 和子	(株)太平洋コンサルタント	コンクリート、放射性廃棄物
三好 悟	(株)大林組	建設、放射性廃棄物
稲垣 八穂広	九州大学	原子核工学、放射性廃棄物
計11名		
<u>市民の方々</u>	<u>中沢氏、丹治氏をはじめ計30名程度</u>	

第2回勉強会(2012.3.25 松川学習センター)プログラム

1. 勉強会の趣旨、経緯等の説明(10:00～) 稲垣 八穂広(九大)

2. 福島の方からの質問事項に関する議論(10:05～12:05 計120分)

進行:中沢 達浩(福島側幹事)、佐藤 努(北大)

* 各質問事項につき、講義15分、質疑15分

(1)身体、健康に関する事項 講師:秋葉 健一(東北大学名誉教授)

(2)食べ物に関する事項 講師:芳賀 和子(太平洋コンサルタント)

(3)数値に関する事項 講師:河田 東海男(原子力環境整備機構)

(4)除染に関する事項 講師:川妻 伸二(日本原子力研究開発機構)

3. 自由討論(12:05～) 進行:丹治 佳男(松川町代表)、千葉 保(日揮)

勉強会での質問事項の例

(1) 放射線、放射性物質に関する事項

- ・放射性物質は水洗いで落ちるのか？（シャワー、お風呂、手洗い、衣服の洗濯）
- ・放射性物質は肌から体内に入るのか？

(2) 身体、健康に関する事項

- ・今後小児癌になる確率はどの位あるのか？ 発生率を下げる方法は？
- ・除染も進んでいない現状で私達はそのまま住み続けても大丈夫なのか？
- ・外で体育や部活をやって本当に大丈夫なのか？

(3) 食べ物に関する事項

- ・放射線をあびている食物を食べて影響は無いのか？
- ・野菜を安全に食べる処理方法は？（皮をむく、流水で洗う、特殊な洗剤で洗うなど）

(4) 数値に関する事項

- ・暫定基準の数値は何を基に誰が決めているのか？
- ・すでに被ばくしている福島は同じ数値で良いのか？

(5) 除染に関する事項

- ・剥ぎ取った庭の表土を庭の一角に埋めたいがどのような場所が良いのか？
- ・校庭の表土を取ったからと言って本当に大丈夫なのか？
- ・なかなか部屋の線量が下がらないが、室内の除染はどのようにしたら良いのか？

勉強会で分かった事、BE部会が出来る事

- 福島市をはじめとする多くの市町村では、環境修復が必ずしも効果的に進んでいるとは言えない。
- 技術の問題に加え、活動の組織体制、役割分担にも問題あり。
- あふれるほどの多くの情報があるが、情報の整理がなされておらず、どれを信じて良いのか分からない。
- 効率的な環境修復を進めるには、市民一人一人が適切に判断、行動するための科学的な基礎知識を持つ事が有効。
- BE部会は科学的な基礎知識を分かり易く丁寧に提供する事で貢献できる。